



日野 健 議員

文化ホール・図書館建設

問

- ①文化ホールの規模は。
- ②南伊予地区への説明責任について、併せて民意の認識について問う。
- ③「ウエルピア伊予」の今後について
- ④計画施設を分離して建設してはどうか。

答 中村市長

①できる限りコンパクトで使い勝手がよく、規模よりもグレードを重視したものを考えているが、今後、審議会や市民を含めたワークショップ等で議論し決定したい。



ウエルピア伊予

②南伊予地区の区長には、場所変更の経緯等を説明した。今後、必要であれば地域の方々に対して説明していきたい。

また今回の変更は、民意によるものだとして認識している。

③できる限り存続させたいが、そのためには多額の財政負担も必要であり、更新時には、状況等を的確に見極めながら、現状のままが良いのか、一部見直しをしたほうがいいのか、市民の声を参考に選択したい。

④現時点では、文化的集

客施設は一体型がよいと考えているが、その他の機能は、全て複合型がよいのか分離がよいのか、今後のワークショップ等を通じて決定をしていきたい。

農業・農村問題

問

①「人と農地の問題」に関し、新規就農者支援と農地集積支援の取り組み状況、市の関わりについて問う。

②市単独の事業として基金を創設し、若年担い手を確保してはどうか。

答 産業建設部長

①地域の中心となる経営体の育成、農地の集積、地域就農者の増加などの実現に向け、5年間集中的に取り組む「人・農地プラン」という施策が国から示された。

市としても、地域農業の将来ビジョンや今後の

方向性など地域の実情を把握し、積極的に推進していきたい。

②国で制度化されている青年就農給付金や財団法人えひめ農林漁業担い手育成公社の就農支援事業を関係機関と連携し、支援をしていきたい。

また市単独の基金創設は、先進地事例を参考に今後より一層研究したい。

大谷川改修事業

問

2期工事については、地元も期待をし、早期事業着手を願っている。事業化への取り組み、その見通しについて、併せて地元体制についても問う。

答 中村市長

平成24年6月に地元等からの要望により、河川の現地調査をした結果、護岸の老朽化等及び断面不足が確認されたので、8月に県へ、伊予小学校

グラウンド出入り口付近から、大谷池下までの河川改修を要望した。

改修に当たっては、多くの問題点を抱えているが、事業の早期採択を受けるためにも、地元関係団体での組織づくりをしていただき、市、地域全体で連携し、取り組む必要がある。



大谷川の上流部

その他の質問事項

・生活保護について